

講習の名称：個別言語教育の壁を越えて初級外国語教育を考える

担当講師：田中 一嘉（教育学部准教授）

講習開講日：2019年8月21日(水)

時間数：6時間

主な受講対象者：小教諭、英語を担当する中・高教諭

キーワード：外国語教育、言語教育、ドイツ語、英語

講習の概要：

義務教育における英語教育と、大学教養教育におけるドイツ語教育とを、それぞれが今日抱える諸問題を踏まえながら、初級外国語教育という観点から一括してとらえ、現代言語学の知見を背景として、個別言語教育の壁を越えた広い視野で、初級外国語教育のあり方を考える。同時に他言語の初級教育の状況を知ることを通じ、義務教育における初級英語教育の相対化を図る。英語担当以外の教諭でも受講可能。

講習の展開：

第1時限 大学教養教育におけるドイツ語教育の現状と課題

第2時限 初級外国語教育の諸相 ～ドイツ語と英語を例にとって

第3時限 初級外国語教育における諸問題の整理とテーマ別グループ討論

第4時限 言語の壁を越えた初級外国語教育の可能性 全体討論と総括

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

特にないが、英語教育、外国語教育のみならず、国語(母語)教育も含めた言語教育全般に興味を持っていることが望ましい。

授業の形式：講義および討論形式

履修認定試験：論述形式の筆記試験。講義と討論の内容に基づいて出題する。(配布資料及びノートの参照可)

テキスト・参考文献：テキストは講習時に資料を配布する。

参考文献として以下を挙げる。

- 田中一嘉他 「初級外国語教育の諸問題—L2としての中学校英語とL3としての大学教養ドイツ語・フランス語—」 群馬大学教育実践研究 第24号 2007
- 三瓶・成田編 『ドイツ語を考える ことばについての小論集』 三修社 2008
- 田中一嘉 「初級外国語の文法はどのように学習されているか—大学ドイツ語初級教科書と中学英語検定教科書における文法学習の在り方を比較して—」 群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編 第64巻 2015